

ウイルスバスターコーポレートエディションと
ServerView Console の Apache についての注意事項

富士通株式会社

1. はじめに

ウイルスバスターコーポレートエディション 7.3/8.0 と ServerView Console※ V 4.61.06 以前のバージョンからインストールされる Apache は、サービス名、及びレジストりに登録される名称の“Apache2”が競合するため、共存が出来ません。

※ServerView Console の製品名称は、V4.80.15以降から「ServerView Operations Manager for Window」に変更されています。

2. 現象及び原因について

【現象】

ServerView Console とウイルスバスターコーポレートエディション Corp. サーバを同時にインストールすると、ServerView Console と Corp. 管理コンソールが表示できない現象が発生します。

【発生条件】

- ServerView Console がインストールされている環境。
ServerView Console V4.61.06 以前のバージョン
※ServerView エージェントのインストールでは発生しません
※PRIMERGY FT/HA モデルでは TX300FT S4 および TX300HA S4 とそれ以前のモデルには、出荷時に該当する ServerView Console がプレインストールされています。
- ウイルスバスターコーポレートエディション 7.3/8.0 Corp. サーバ
※ウイルスバスターコーポレートエディション（以降 Corp.）は、サーバ機能の Corp. サーバとクライアント機能の Corp. クライアントの2つのモジュールから構成され、別々にインストールします。本現象が発生するのは、Corp. サーバのみとなります。

【原因】

ServerView Console V4.61.06 以前のバージョンに添付された Apache は、先にインストールされていても、Corp. サーバのインストーラで Apache がインストールされていることを検出できず、Corp. サーバインストール時にも Apache をインストールしてしまいます。そのため、サービスの上書きが発生することが原因です。Corp. サーバ（Apache インストール）→ServerView Console の順でインストールした場合でも同様の現象が発生します。

※ServerView V4.71.11 以降では、“Apache2_sv”で登録されるよう改善された為、Corp. サーバがインストールする Apache と共存可能です。

[修正事項] サービス名、及びレジストりに登録される名称

<<変更前>> Apache2 →<<変更後>> Apache2_sv

3. 発生を未然に防ぐ方法

下記のいずれかの回避方法で対処して下さい。

➤ 回避方法 1 – ServerView Console 側で対処する場合

- 1-1 ServerView Console を別サーバにインストールする。
- 1-2 もしくは ServerView WEB Server として IIS を使用する。

※Corp. サーバのインストール前に対象サーバに IIS がインストールされている必要があります。

※ServerView を再インストールする場合、ServerView Console のみ再インストールを実施します。
ServerView Agent は削除する必要はありません。

➤ 回避方法 2 – Corp. サーバ側で対処する場合

Corp. サーバのインストール時に、Web サーバとして IIS を指定します。

Corp. サーバのインストール前に対象サーバに IIS がインストールされている必要があります。

➤ 回避方法 3 – Apache2 を利用して共存させたい場合

Apache2 を利用して共存させる場合は、Corp. サーバや ServerView 付属の Apache を使用しないようにします。

1. 既に Corp. サーバと ServerView Console がインストールされている場合は、両方をアンインストールします。

ServerView Console をアンインストールすると、アラームサービスの設定は消えるため、インストール後に手動で再設定が必要です。

2. Apache2.0.x を単独でインストール後に、Corp. サーバと ServerView Console をインストールして下さい。Apache2.0.x 単体インストールは、msi 形式のインストーラを使用してください。SSL あり、なしはどちらでも ServerView の動作に問題はありません。

Apache と ServerView インストールの順番は、どちらからでも構いません。

3. ServerView Console を再インストール後、アラームサービスの再設定をしてください。

■Apache ダウンロード

単体の Apache をインストールする場合は、以下から最新版をダウンロードしてください。

[The Apache HTTP Server Project] <http://httpd.apache.org/download.cgi>

➤ 回避方法 4 – 修正された ServerView Console を利用する場合

修正が適用された ServerView Console のバージョンを使用することで、競合を回避します。

1. ServerView Console のバージョンが「2. 現象および原因について」の「発生条件」に該当する場合は、ServerView Console をアンインストールします。

ServerView Console をアンインストールすると、アラームサービスの設定は消えるため、イン

ストール後に手動で再設定が必要です。

2. 最新の ServerView Console と Corp. サーバをインストールしてください。
インストールの順番は、どちらからでも構いません。
3. ServerView Console を再インストール後、アラームサービスの再設定をしてください。

■ServerView Console ダウンロード

最新の ServerView Console をダウンロードする場合は、以下から最新版をダウンロードしてください。

[ダウンロード] <http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

検索方法:[ダウンロード]-[ダウンロード検索]-[添付ソフト]

→「添付ソフト／ドライバ名称」の欄に” ServerView Console for Windows” または” ServerView Operations Manager for Windows” を入力して検索します。

4. 復旧方法

「2. 現象及び原因について」の【現象】がすでに発生している場合は、Corp. と ServerView Console の両方をアンインストールする必要があります。両方をアンインストール後、【3. 発生を未然に防ぐ方法】のいずれかの回避方法で対処して下さい。

※ServerView Console をアンインストールすると、再インストール後にアラームサービスの再設定が必要となります。

以上